

日の出 だより

vol.53

日の出イメージキャラクター「ひのでちゃん」



日の出山から見る朝日



「赤」にちなんだ地域の活性化!

日の出トマトや日の出山の朝日から連想される「赤色」で町を活性化する「日の出赤いプロジェクト」が活動中

「日の出赤いプロジェクト」とは、日の出町特産である日の出トマトや日の出山から眺める日の出(太陽)などから連想される「赤色」で地域活性化に取り組んでいる、日の出町内外の企業・団体・個人からなる任意組織です。平成26年度は東京都の「地域資源発掘型実証プログラム事業」を活用し、観光商品化を目指してモニターツアーを実施しています。

地域資源発掘型実証プログラム事業とは東京都が行う事業で、いまだ活用されずに眠っている地域資源を活用するためのアイデア(企画案)を募集し、旅行者誘致につなげていくための事業です。

プロジェクトの第一弾として、去る9月と11月に、「日の出赤いエクストリーム出社モニターツアー」が開催されました。これは、日曜日の午後に紙すきや忍者などの体験をして知力・精神力を養い、日の出山山頂近くの山小屋に宿泊、翌朝は日の出山からの朝日を拝み体力を充電、下山後につる温泉でリフレッシュして出動するという、新しいライフスタイルの提案を目指して実施したものです。今後も赤色や地域の食材を生かした食のメニュー開発や、日帰りの紙すき体験・忍者体験のモニタープログラムを実施する予定です。



赤色に注目です!

紙すき体験

忍者体験

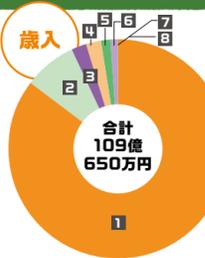
山小屋「東雲山荘」

問い合わせ アールアンドディー・アイスクエア㈱(東京都事業受託事業者) 担当:佐藤、本木 電話 03-3221-3551 Eメール info@rdii.co.jp

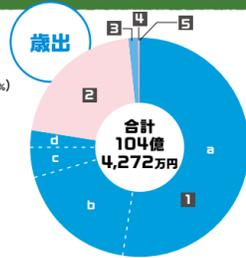
平成25年度決算の報告

決算額は、歳入が109億650万円(前年度比0.9%減)、歳出が104億4,272万円(前年度比4.0%減)となりました。

平成25年度は、エコセメント化施設で使用する燃料単価の高騰があったものの、住民の皆さまのごみ減量努力と当組合の内部努力により、歳出を抑制することができました。



- 分担金及び負担金
1 諸収入
2 繰入金
3 組合債
4 繰越金
5 財産収入
6 国庫支出金
7 都支助金



- 衛生費
a エコセメント事業費
b ニツ塚処分場費
c 谷戸沢処分場費
d 清掃総務費
e 公債費
f 総務費
g 議会費
h 諸支助金

EVENT

オオムラサキ放蝶会が行われました 6月24日



今年も国蝶・オオムラサキの放蝶会が谷戸沢処分場で行われ、日の出町立大野小学校の6年生が来場しました。日の出町の豊かな自然で生まれ育った24頭の蝶が元気に羽ばたく姿に、児童たちは大喜びの様子でした。



谷戸沢処分場の歴史や周囲の自然環境などを学びました

夏休み処分場見学会を行いました 8月8日・22日

恒例の夏休み処分場見学会を実施し、小学生の親子を中心に130人が参加しました。多摩地域の清掃工場から、エコセメント化施設、ニツ塚処分場、谷戸沢処分場と見学し、自分たちの出すごみの流れやごみ減量の大切さを学んでいただきました。



ニツ塚処分場の埋立状況の説明に耳を傾ける参加者

自然観察ガイドツアーを開催しました 11月15日

秋の谷戸沢処分場自然観察ガイドツアーが今年も開催され、37人の方が参加しました。地元の環境指導員の方々から、処分場の歴史や環境回復に向けた取り組みなどについて説明を受けた後、すがすがしい秋晴れの下、散策を楽しみました。



処分場内に生息する動物の写真などを熱心に見ている参加者

議会の報告

平成26年第2回循環組合議会定例会(平成26年10月31日開催)

Table with 3 columns: 番号, 件名, 議決結果

循環組合の議員は、組織団体25市1町の議会議員の中から選出されています。

循環組合の動き

Table with 2 columns: 平成26年, 内容

TOPICS 海外からの視察を受け入れています



循環組合では、技術研修の場として海外からの視察を受け入れています。今年度もミャンマーやベトナム、イランなどから視察団が訪れ、エコセメント化施設や最終処分場の維持管理方法などについて、組合職員が説明を行いました。

環境調査を行い、安全性を確認しています

循環組合では、ニツ塚・谷戸沢両処分場とエコセメント化施設で定期的に水質や大気などの環境調査を行っています。平成26年度第1四半期の下水道放流水やモニタリング井戸、排ガス調査では、いずれも基準値を下回り、エコセメント化施設や処分場の埋立事業による周辺環境への影響はないことが確認されました。また、エコセメント化施設では放射性物質濃度の測定(月1回)と、ニツ塚処分場の敷地境界における空間放射線量の測定(週1回)も実施しています。10月の測定結果につきましても、これまで同様、安定した数値であり、周辺環境に影響を及ぼしていないことが確認されました。

*調査結果の詳細はホームページにて公表しています

ご意見などをお待ちしております

循環組合では、皆さまのご意見、内容やごみ処理に関するお考えなどをお待ちしております。お手紙、FAX、電子メールのいずれかの方法で、「たまエコニュース係」と明記のうえ、左記まで先にお送りください。

処分場の敷地内や周辺の土壌、水質など環境調査の結果をホームページで公表しています

循環組合

検索

東京たま広域資源循環組合

住所 〒190-0181 東京都西多摩郡日の出町 大字大久野7642
TEL 042-597-6151 FAX 042-597-7886
Eメール sjkumiai@tama-junkankumiai.com



発行: 東京たま広域資源循環組合

たまエコニュース

2014 12月号 vol.64

目次

表紙・中面

特集 最終処分場の運営について
・循環組合では、処分場および周辺地域の環境対策に努めています
・最終処分場の運営には、日の出町の多くの方にご協力いただいています
・私たちができること
・平成25年度 ごみの埋立量について

裏表紙

インフォメーション
・日の出だより
・平成25年度 決算の報告



多摩400万人のごみ情報紙

多摩地域25市1町のごみは、

日の出町にある処分場で、

リサイクル および 埋め立て が行われています。

ニツ塚処分場 (エコセメント化施設)



日の出町

谷戸沢処分場

谷戸沢処分場は自然回復が進んでいます



多摩地域25市1町のごみはニツ塚・谷戸沢処分場で最終処分されています

各市・町のごみは、中間処理施設で処理された後、ニツ塚処分場でリサイクル(エコセメント化)および埋立処分されています。谷戸沢処分場は平成10年に埋め立てを終了しましたが、引き続き適切な維持管理を行っています。

循環組合は安全・安心な処分場運営に努めています

循環組合では、周辺環境に影響が生じないよう、万全な管理体制のもと、処分場の運営を行っています。また、定期的に環境調査を行い、安全面での確認を行っています。

日の出町の皆さまに多大なご理解とご協力をいただいています

処分場は、日の出町の方々のご理解とご協力により設置することができました。処分場開設後も施設の運営状況の確認、環境調査での立ち会いなどにご協力をいただいています。

詳しくは中面へ

東京たま広域資源循環組合(循環組合)

http://www.tama-junkankumiai.com/

循環組合は、多摩地域25市1町の自治体(組織団体)によって構成・運営されています。

東京たま広域資源循環組合は、ニツ塚処分場・谷戸沢処分場を管理・運営している特別地方公共団体で、日の出町の皆さまにご理解とご協力をいただきながら、多摩地域25市1町、約400万人のごみの最終処分を行っています。可燃ごみの焼却灰をセメント(エコセメント)としてリサイクルし、不燃ごみは埋め立てをしています。

組織団体 八王子市、立川市、武蔵野市、三鷹市、青梅市、府中市、昭島市、調布市、町田市、小金井市、小平市、日野市、東村山市、国分寺市、国立市、福生市、狛江市、東大和市、清瀬市、東久留米市、武蔵村山市、多摩市、稲城市、羽村市、西東京市、瑞穂町

最終処分場は周辺環境に配慮をし、 地元の皆さまにご協力いただきながら運営を行っています。

ごみを減らす3つのR、
3Rを実践しましょう



循環組合では、処分場および周辺地域の環境対策に努めています

ニツ塚処分場

安全第一を基本に管理運営

不燃ごみの搬入

平成10年に開設したニツ塚処分場は、現在は、不燃ごみのみを埋め立てています。搬入される不燃ごみは、乾電池などの有害ごみが含まれていないか、決められた大きさ以下に破碎されているかなど、厳重に監視を行っています。さらに、ごみの飛散を防止するため、風の強い日はごみの搬入を停止したり、埋立時には水を掛けながら作業を行い、その日のうちに土をかぶせるなど細心の注意を払っています。また、搬入トラックが退場する際には、ごみや土を外に持ち出さないよう、必ずタイヤなど洗車してから退場をしています。



トラックの洗浄作業の様子

浸出水の処理

埋め立てたごみに触れた雨水（浸出水）は、水処理施設に集められ浄化処理を行った後、公共下水道に放流されます。また、処分場の底は多層構造で水をささぎるように施工（しゃ水工）されているので、浸出水が漏れ出すことはありません。

エコセメント化施設

排ガスなどを安全に処理し、エコセメントを製造

平成18年に稼働したエコセメント化施設では、可燃ごみの焼却灰を全量エコセメントとしてリサイクルしています。これによりニツ塚処分場の使用期間を大幅に伸ばすことができました。

焼却灰の受け入れは、密閉した建屋内で行われているため、灰が施設の外に漏れることはありません。焼却灰に含まれるダイオキシン類は、高温で焼成されることによって分解、無害化されます。また、排ガスは、急速に冷却しダイオキシン類の再合成を防止するとともに、バグフィルタ（ろ過式集塵機）等できれいにして煙突か

ら排出されます。バグフィルタで捕集した飛灰は、重金属回収設備で処理し、銅などを回収してリサイクルしています。

エコセメント事業は、環境に十分配慮し、徹底した安全対策のもと運営しています。



エコセメント化施設

谷戸沢処分場

埋立終了後も適切な維持管理を実施

昭和59年から14年間にわたりごみの埋め立てを行い、平成10年に埋め立てを終了しました。

埋め立て終了後も、浸出水の処理などを行うとともに、定期的な水質等の調査を行い周辺環境への影響を確認するなど、適切な維持管理を続けています。

現在では、自然回復が順調に進み、多様な動植物が暮らせるようになりました。場内では、トウキョウサンショウウオやカヤネズミ、オオムラサキといった貴重な生き物の生息が確認されています。



平成11年に造られた清流復活用貯水池

私たちができること

3Rは順番が大切です！
処分場を大切に使うためには、やはりごみの減量がいちばんの近道です。すっきりおなじみとなった「3R」をおさらいして、毎日できる取り組みを考えてみましょう！



ほかにも… 有害ごみは必ず分別しましょう
処分場に搬入されるごみの中に有害ごみが紛れ込むと、周辺環境に悪影響を及ぼす可能性があります。有害ごみもきちんと分別することが大切です。

うちでも3Rやってみよう



斎藤さん親子（多摩市在住）

私たちはこんな取り組みをしています！

- Reduce** 出かける時の飲み物は水筒を持参。お肉を買うときは量り売りでムダがないようにしています。
- Reuse** 履かなくなった靴下などの衣類を調理後のフライパンの油ふきにしています。
- Recycle** 雑紙はきちんと分別し資源ごみへ、食品トレー・牛乳パックは買ったスーパーの店頭回収に出しています。

夏休み処分場見学会に参加された親子に、暮らしの中で実践している3R活動を伺いました。

最終処分場の運営には、日の出町の多くの方々にご協力いただいています



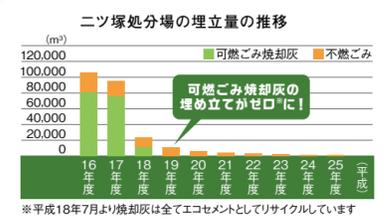
不燃ごみ埋め立ての立ち会いの様子 環境調査立ち会いの様子

処分場は、日の出町の方々のご理解のもと、開設に至りました。開設から30年、地元自治会に設置された、谷戸沢処分場監視委員会、ニツ塚処分場対策委員会、そして日の出町職員の方々に、処分場の安全に対するチェックをお願いしています。現在は毎週3日、不燃ごみの埋め立てや、エコセメント化施設の運転など、現場での状況を確認していただいています。そして、各委員会は3カ月に一度開催され、循環組合で定期的に行っている環境調査の結果や安全対策、管理状況等について報告し、意見や要望をいただくなどしています。

日の出町の関係者の方々に貴重な時間を割いてご協力をいただきながら、この処分場の運営が成り立っているのです。

NEWS 平成25年度 ごみの埋立量について

ニツ塚処分場は現在、ガラス・陶器等の不燃ごみのみの埋め立てとなっているため、大幅に埋立量が減少しています。平成25年度の埋立量は約1,700㎡で、前年度とはほぼ同量でした。それでも限りのある処分場を長く使っていけるよう、今後も引き続きごみの減量と分別にご協力をお願いします。



最終処分場には限りがあります。ごみの減量に、みなさんのご協力を願っています。

